



**水戸ホーリーホックによる
水戸信用金庫スタジアム（笠松運動公園陸上競技場）の
ホームスタジアム利用に関する記者会見**

2026年2月27日

課題とこれまでの経過

○水戸ホーリーホックは、2025明治安田J2リーグで優勝、J1リーグ昇格が決定

○J1リーグでの公式試合については、Jリーグスタジアム基準により、**15,000人以上の入場可能数がある施設**をホームスタジアムとして開催する必要

○これまでホームスタジアムとしていたケーズデンキスタジアム水戸（水戸市立競技場）の収容人数は12,000人であり、J1リーグ公式試合の開催要件を満たせなかった

※現在は例外適用を認められ、Jリーグスタジアム基準の要件を充足

○このため、水戸ホーリーホック側から、入場可能数を満たす**水戸信用金庫スタジアムの利用について、県に相談があったもの**



[写真提供：水戸ホーリーホック]

茨城県の考え方

- 水戸ホーリーホックは、県を代表するスポーツチームの一つ。
J2リーグ参入26年目での悲願達成でもあり、県として必要な支援を行っていく
- 一方で、水戸信用金庫スタジアムは、陸上をはじめ他の競技等においても、競技のための主要施設として重きを置かれている存在
- 茨城のスポーツ全体を振興する観点から、
すべての競技でスタジアムを支障なく利用できる環境を確保するのが県の責務



水戸ホーリーホックによるホームスタジアム利用



- 水戸ホーリーホックによる2026-2027シーズン公式試合でのスタジアム利用について、県、一般財団法人茨城陸上競技協会、水戸ホーリーホックの三者で覚書を締結

覚書を順守することを条件に、水戸ホーリーホックに対し、
スタジアムのホームスタジアム利用を認める

水戸信用金庫スタジアム利用に当たっての主な条件 1

- (1) 水戸ホーリーホックは、スタジアムを利用するすべての利用者が、円滑に利用できるよう努力すること
- (2) 利用に当たり、他の競技団体等との個別の日程調整等が必要な場合は、水戸ホーリーホックが調整に当たること
- (3) 日程調整等の結果、競技団体等が他の競技場を利用しなければならぬ場合は、競技場の確保や、競技に必要な施設や用具の整備など、水戸ホーリーホックが対応すること

水戸信用金庫スタジアム利用に当たっての主な条件 2

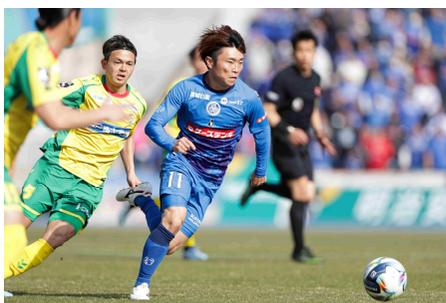
- (4) Jリーグの基準等を満たすため、スタジアムの改修や特別な維持管理が必要な場合は、費用について水戸ホーリーホックが全額負担すること
- (5) 試合時の駐車場の確保や鉄道駅等からのバス運行など、水戸ホーリーホックが責任を持って交通渋滞対策等を講じること

今後の進め方



- 本日の発表をもって、茨城県は、水戸ホーリーホックによる水戸信用金庫スタジアムのホームスタジアム申請を認める
- 水戸ホーリーホックは、Jリーグによる承認後、本年8月に開催される2026-27シーズンより、水戸信用金庫スタジアムをホームスタジアムとして利用する

おわりに



- 昨シーズンの優勝で、水戸ホーリーホックは、ますます多くのサポーターに応援される人気チームとなった
- J1リーグのチームに寄せられる大きな期待と、影響力の大きさを十分認識しながら、茨城県民に大きな喜びを与えるクラブチームとして飛躍していただきたい